



市勢要覧 2012

AMAMI

鹿児島県

奄美市



奄美市 市勢要覧 2012

鹿児島県奄美市

自然・ひと・文化が共につくる
KYORANOSHIMA シマ
きよらの郷

Amami City Statistical Summary 2012

Amami City, Kagoshima Prefecture
Nature, people and culture create a beautiful homeland



AMAMI CITY

Amami City Statistical Summary 2012
Nature, people and culture create a beautiful homeland

発行日／2012年3月31日

発行／鹿児島県奄美市企画調整課 〒894-8555 鹿児島県奄美市名瀬幸町25-8 TEL.0997-52-1111㈹ FAX.0997-52-1001

●ホームページアドレス <http://www.city.amami.lg.jp/> ●E-mailアドレス info@city.amami.lg.jp

編集／奄美市企画調整課企画・制作／株エアポートTVネットワークジャパン

Contents

— 1 —	きょうの郷・奄美 / 発刊に寄せて On publication of Beautiful Homeland Amami
— 2 —	生命かがやく Life shines
— 4 —	～ドラマチックな森へようこそ～ Life shines! Welcome to a dramatic forest
— 6 —	人かがやく People shine
— 8 —	歌のチカラ The power of song
— 10 —	人づくり・まちづくり Developing people, building community
— 12 —	奄美の歴史を語る Telling the story of Amami's history
— 14 —	～最近のできごと～ Telling the story of Amami's history/ Recent developments
— 15 —	一集落1ブランド One Village, One Brand
— 16 —	農業 Agriculture
— 18 —	林業 Forestry
— 19 —	水産業 Fisheries
— 20 —	観光 Tourism
— 22 —	～スポーツアイランド & クルージング観光～ Tourism / Sports Island & Cruise Touring
— 22 —	島ごよみ Island calendar
— 24 —	情報の産業化 Information industry
— 25 —	環境の保全 Environmental preservation
— 26 —	健康と福祉 Health and social welfare
— 28 —	学校教育 Education in the schools
— 29 —	社会教育 Community education
— 30 —	特産品ご紹介(黒糖焼酎・本場奄美大島紬・食の可能性) Local specialties (Brown sugar shochu spirits, Authentic Amami Oshima Tsumugi silk pongee and food)
— 32 —	姉妹・友好都市交流 / 交流事業 Sister city/ Friendship city exchange programs
— 33 —	奄美市ゆかりの人々 People connected with Amami City
— 34 —	行政 / 議会 Government/ Municipal assembly
— 35 —	奄美市民憲章・名誉市民 Amami citizen charter/ Honorary citizens
— 36 —	主な公共施設一覧 Amami City public facilities
— 38 —	奄美市の花木等 Amami City flower and tree

AMAMI奄美 きょうの郷 美

発刊に寄せて

Commemorating the 2012 Amami City Statistical Summary

奄美市長 朝山毅
Amami City Mayor Tsuyoshi Asayama



奄美市は、鹿児島県本土と沖縄のほぼ中間に位置し、大小8つの有人島からなる奄美群島の拠点都市です。亜熱帯気候に属し、黒潮が走る豊かな海には美しいサンゴ礁が広がり、色鮮やかな熱帯魚が生息しております。緑深い内陸部では、固有種であるアマミノクロウサギやルリカケスをはじめ珍しい動植物が生息し、豊かな自然が身近に存在しています。これら唯一無二の貴重な自然の保護に努め、後世に引き継いでいくために世界自然遺産登録に向けた様々な取組みを進めております。

また、伝統工芸品である本場奄美大島紬や黒糖焼酎、そして島唄や八月踊りに代表される伝統芸能など、これまでに歴史とともに育まれた貴重な宝を有しており、これらの地域資源こそが本市のさらなる発展の原動力になるものと期待しております。そして更なる発展を目指し、グローバル化、情報化社会へ対応できる人材育成や観光交流人口の拡大に努めてまいります。

平成18年3月20日に奄美市が誕生し、今まで様々な出来事がありました。平成21年7月には今世紀最大の皆既日食があり、世界中から多くの観光客が訪れ、平成22年から横浜DeNAベイスターズ球団が秋季キャンプを実施されるなど、島内外から注目を集めています。また、平成22年10月20日の奄美豪雨災害や平成23年の9月25日、11月2日に発生した未曾有の豪雨災害では、深い悲しみが市民の胸に刻まれました。しかしながら、私達は先人より受け継がれた「結いの精神」と被災直後より全国各地から賜りました激励、ご支援により困難を乗り越え、元気で明るい奄美を取り戻すため全力を尽くしているところです。

本冊子は、「自然・ひと・文化が共につくるきょうの郷(シマ)」をテーマに作成しました。この要覧を通して、本市をより深くご理解いただくとともに、市勢の更なる発展に皆様のご協力をいただければ幸いです。

Located approximately halfway between the Kagoshima mainland and Okinawa, Amami City is the central city of the Amami archipelago. Situated in a subtropical climate, Amami boasts a beautiful coral reef that expands throughout bountiful seas as well as rare plants and animals like the endemic Amami Rabbit and Lidith's jay that inhabit the lush green inlands. Efforts are underway to preserve these wonders for future generations by having Amami listed as a UNESCO World Natural Heritage Site.

Local resources such as authentic Amami Oshima tsumugi pongee, brown sugar shochu spirits, island songs and Hatchi-Gatsu Odori dancing are viewed as engines of further development for Amami City. We are also working to develop human resources who can function in a global information society and to expand tourism and exchange.

Amami City was founded on March 20th, 2006, and received attention for hosting the largest total solar eclipse this century, the Fall Camp for the Yokohama DeNA Bay Stars baseball team, and other events. Although our city was also hit by repeated heavy rain disasters, we are putting all of our energy into rebuilding a strong, prosperous Amami.

The theme of this pamphlet is "Nature, people and culture together create a beautiful homeland". We hope you gain a deeper understanding of Amami City and ask your cooperation in further developing city life.

いのち 生命かがやく

奄美には貴重な野生動植物が生息・生育する亜熱帯性の森や、生命のゆりかごといわれるマングローブ、美しいサンゴ礁に囲まれた海岸など、世界中でここだけしか見られない自然に恵まれています。またここには国の特別天然記念物のアマミクロウサギをはじめ、国の天然記念物が11も指定され、固有種や希少種の宝庫として、世界自然遺産登録の候補地になっています。

海や森、マングローブで繰り広げられる様々な生命の営み。祖先から引き継いできたこれらの貴重な宝を、これからもずっと守っていきたいと思っています。

Amami is blessed with nature seen nowhere else in the world: subtropical forests where precious wild plants and animals live and grow, mangroves that are called the cradles of life, and beaches surrounded by stunning coral reefs.

In addition to the Amami Rabbit, a Special National Natural Monument, 11 other national protected species can be found in Amami. The island, a treasure chest of endemic and rare species, is a candidate for the UNESCO World Natural Heritage Site List.

A drama of diverse life plays out in our seas, forests and mangroves. We must continue to protect these precious living treasures handed down from our ancestors.



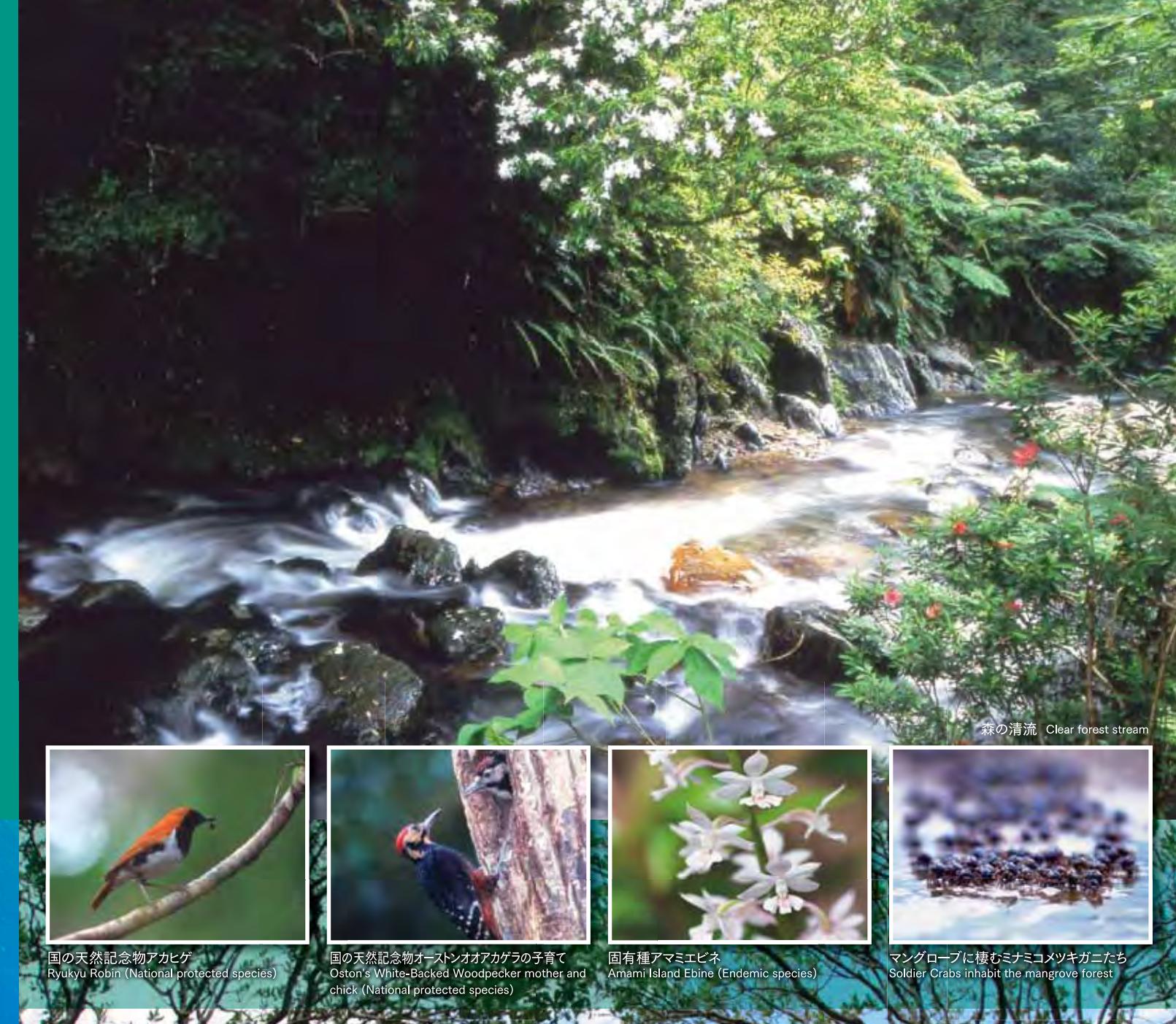
ウミガメの産卵地
Sea turtle spawning ground



コアジサシの幼鳥
Little Tern chick



国の天然記念物ルリカケスの子育て
Lidith's Jay mother and chick (National protected species)



森の清流 Clear forest stream



国の天然記念物アカヒゲ
Ryukyu Robin (National protected species)



国の天然記念物オーストンオオアカゲラの子育て
Oston's White-Backed Woodpecker mother and chick (National protected species)



固有種アミエビネ
Amami Island Ebine (Endemic species)



マングローブに棲むミナミコメツキガニたち
Soldier Crabs inhabit the mangrove forest



2 海底に広がるサンゴ礁(節田海岸沖) Coral reef



マングローブ原生林 Virgin mangrove forest

リュウキュウ
コノハズク
(希少種)
Ryukyu Scops Owl

きよらの郷奄美 生命かがやく
Beautiful Homeland Amami

ドラマチックな森へ、ようこそ

Life shines Welcome to a dramatic forest

夜のとぼりがおりると、奥深い奄美の森では夜行性の動物たちが、生き生きと活動を始めます。

時折、アマミノクロウサギの鳴き声やオットンガエルなどの声も聞こえ、とてもにぎやか。

この島には、世界でも類を見ない程多くの固有種が1,000万年も前から生き続けてきました。

奄美市では、この大自然と人々が共存する「環境立島」を目指し、

未来へ引き継いでいこうと考えています。

Under the veil of darkness, nocturnal creatures begin to stir in the deep Amami forest.



アミヤマシギ
(絶滅危惧種)
Amami Woodcock
(Endangered species)



オオトラグミ
(国指定天然記念物)
Amami Thrush
(National protected species)



リュウキュウイノシシ
(希少種)
Ryukyu Wild Boar (Relict)



アマミノクロウサギ
(国指定特別天然記念物)
Amami Rabbit
(Special National Natural Monument)



アマミイシカワガエル
(県指定天然記念物)
(Ishikawa's Frog)
(Kagoshima prefectural protected species)



シイノトモシビタケ
(希少種)
Fluorescent Fungus:
Chinquapin Glow Mushroom
(Rare species)



ハブ



イボイモリ
(県指定天然記念物)
Anderson's Crocodile Newt
(Kagoshima prefectural protected species)



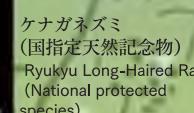
アマミトゲネズミ
(国指定天然記念物)
Amami Spiny Rat (National protected species)



オットンガエル
(県指定天然記念物)
Otton Frog
(Kagoshima prefectural
protected species)



アマミ
マルバネクワガタ (希少種)
Neolucanus protogenetivus
Y.Kurosawa Stag Beetle



ケナガネズミ
(国指定天然記念物)
Ryukyu Long-Haired Rat
(National protected species)



奄美の人々は、昔から苦しいときも楽しいときも歌や踊りとともに、暮らしてきました。特に、旧暦8月に踊られる八月踊りは、五穀豊穣を神に感謝する踊りで、今でも各集落や祭りでは盛んに踊られています。

また海で囲まれた奄美では、昔は舟が交通の手段であったことから、今でも夏祭りには舟こぎ競争が人気、毎年熱戦が繰り広げられています。





将来が期待されている若手唄者
の平田まりなさん



2011奄美民謡大賞を受賞した
前山真吾さん。男性若手のホープ



奄美で初めて民謡日本一を
受賞した築地俊造さん



大島紬の織り手で民謡日本一の
当原ミツヨさん



独特の語りとユーモアのあるシマ唄で会場をわかせる唄者たち



島バスや商店街、ケンムンなどを題材に歌う
濱田洋一郎 & 商工水産ズ



民謡日本一を受賞した中村瑞希さん。
女性若手のホープ



今でもシマ唄を作り続けるシマ唄界の重鎮、坪山豊さん

きよらの郷 奄美
Beautiful Homeland Amami

歌
の
チカラ

The power of song

奄美では、シマ唄を通して神へ祈り、自然を敬い、行事を行い、ときめく恋を語り合ってきました。また、人としての生き方なども、歌に託して子や孫に教え伝えて来たのです。先人にとって、まさに歌は学問のようなもの。奄美では「歌半学」という言葉が残されています。

シマ唄の特徴は、世界的にも珍しい裏声を使用することと、古代語にも通じる言葉で歌われることです。また、民謡日本一の歌い手が奄美市から3人も輩出するなど、シマ唄は世界に誇る奄美の文化そのもの。今でも子どもからお年寄りまで広く歌われています。

In Amami, people have used Shima Uta songs to pray to the gods, to respect nature, to hold traditional annual events, and to express love. Our ancestors commended moral codes of living to these songs to be passed down to children and grandchildren. A thriving tradition, Shima Uta songs are represent Amami culture on the world stage, and are sung by all ages.

Artists ♪ 奄美市出身のアーティストたち from Amami



中 孝介 (あたり こうすけ)



カサリンチュ (笠利の人という意味)



城南海 (きずき みなみ)



8 シマ唄と太鼓などで、奄美を内外に発信する奄美高校生たち

僕が唄で届けたいのは、シマの方言で言う「なつかしゃ」です。誰かを愛おしく思う気持ちや故郷や昔のことを懐かしく思い出して郷愁を感じたりするこの感情を一言で表現出来るこのシマの方言が、僕が好きな言葉の一つです。シマ唄を唄うときでもポップスを唄うときでも、この感情が伝わってくれたらと願っています。また、自分の音楽を通して奄美のことを少しでも多くの人に知っていただけたらと思っています。

PROFILE ●プロフィール

奄美市出身。2006年EPIC RECORDS JAPANより「それぞれに」でデビュー。その後、「花」(森山直太朗作曲、御徒町鳳作詞)が世代を超えたヒット曲となる。台湾で公開の映画『海角七号』に中孝介本人役として出演、映画は歴代台湾映画史上大ヒットとなり、2008年中華圏でリリースしたアルバム「心絆情歌」も、台湾ヒットチャートで1位を獲得。2011年、同郷の元ちとせとお互いの名前をとった「お中元」というユニットを結成し、「春の行人」を発表。2011年「キセキノカケラ」をリリースし、全国ツアーを展開している。

PROFILE ●プロフィール

奄美大島出身。在住。タツヒロの何處までも抜けていく優しいヴォーカル、コウスケの土の匂いのするアーシーなヴォーカルというキャラクターの違う声で二人ともメインヴォーカルを取る。ヒューマンビートボックスをリズムの主体にして、アコギ+メロディアスな楽曲を唄う世界でも類を見ないユニークなスタイルで音楽を作り上げている。奄美大島で仕事をしながら音楽活動を続けている兼業ミュージシャン。2010年7月「感謝」にて待望のメジャーデビュー。12月「あなたの笑顔」をリリース。JA共済CMソングとして大量オンエア。2011年「やめられない」とまれない「High High High」をリリース。「やめられない」とまれないはプリティストンサイクル「アルベルト」TVCMソングとしてOA中。

PROFILE ●プロフィール

平成元年奄美大島生まれ。奄美大島・徳之島の観光大使。2009年1月シングル「アイツムギ」でデビュー。その後もNHKみんなのうた「あさなゆうな」や、NHKドラマ「八日目の蝉」の主題歌「童神～私の宝物～」など、印象的な楽曲をリリース。最新曲は「兆し」(青竜作詞、武部聰志作曲)。2011年は、ACジャパン「国境なき医師団」支援キャンペーンCMソング「ずっとずっと」が話題となる。

人づくりまちづくり



FM Radio Station
Connects People

「machi-iro／まち色」マガジン代表 恵 大造さん

平成19年度、奄美市名瀬中心市街地の活性化を目的として「なぜまち"Come(カン)モーレ"プロジェクト」が結成されました。これは、奄美市通り会連合会と奄美市社交飲食業組合を中心に、奄美大島商工会議所、奄美市とも連携し、奄美の方言で「カンモーレ(こちらにいらっしゃい)」という名称のとおり、各団体の活性化への取り組みをネットワークして、より多くのお客様にまちを訪れていただこうという取り組みでした。その情報発信部会の活動として創刊されたのが、フリーペーパー「machi-iro／まち色」マガジンです。

雑誌作りは全くの未経験だった商店街・飲食街のメンバーでしたが、毎晩、仕事を終えてから集まり、ワイワイやりながら、年5回、冊子づくりに励んできました。おかげで多くの反響があり、その後も皆さんの応援を得て、NPO法人として活動を続けています。まち(商店街)が好きで、にぎわっていたかつてのまちの活気を取り戻したいと思っています。商店街のイベントや、交流プラザ「まちcafe」も経営して、活性化を図っています。まちに来れば何かある、まちに行ってみようと思つてもらえたうれしいですね。

NPO法人『あまみエフエムディ！ウェイヴ』理事長 麓 憲吾さん

2007年に、奄美から気軽に発信できるコミュニティエフエム「ディ！」を開設しました。コンセプトは「島ンチュの、島ンチュによる、島ンチュのための島ラジオ」。島の言葉や奄美的歴史、民謡、島出身アーティストのポップス、細かな生活情報やイベント情報を発信してきました。現在、スタッフ12名、企業・団体会員349社、一般会員約1,100人の方たちに支えられています。

2010年10月に奄美を襲った豪雨災害時、電話も携帯も通じなくなるという未曾有の非常事態が発生しましたが、地域の人々に少しでも安心と安全を届けたいと24時間態勢で、5日間、安否確認や道路情報などの災害情報を発信し続けました。リスナーからの情報提供も多くあり、あらためてラジオの必要性を感じました。笠利中継局が2010年5月にできたこともあり、奄美市を何とかカバーできましたが、山が多く試聴できない地域もあったため、これを機会にインターネット放送を開始。世界中で聴取できるようになったのは、よかったと思っています。

課題はいろいろありますが、今後は奄美群島のネットワーク化や、音楽イベントなどを通じて島の活性化に少しでも役に立ちたいと思っています。



Revitalizing Downtown



商店街の土曜市



にぎわったS-1グランプリ



舟こぎ体験も人気



チャレンジ・ショップ「あしたば村」

奄美市は、市民と行政の共生・協働を目指し、「自助」「互助」「公助」を理念とする「結の心」「和の心」を念頭にまちづくりを進めています。市民が主体的に活躍するコミュニティの力は、魅力ある地域づくりの重要な基礎となります。地域コミュニティの核となる自治会・集落会に加え、多様な市民ニーズに対応した新しい公共サービスの担い手としてのNPO団体などとの連携により、地域を自ら築き上げていく共生・協働社会の実現を目指しています。また、男女共に個人の尊厳が守られ、自らの意思で社会参加をし、対等なパートナーとしてその能力を十分に發揮できる男女共同参画社会を目指しています。

Amami City promotes community building by keeping social connection and harmony foremost in mind to create collaboration between citizens and government based on self-help, mutual help and cooperation.

団塊世代がつくる無償ボランティア

奄美のトラさん 花井 恒三さん

平成19年3月に奄美市役所退職後、役所生活の人脈を生かし、ボランティアで奄美に尽くそうと、「団塊世代がつくる無償ボランティア・奄美のトラさん」活動を始動させました。頼まれもしないのにおせっかいを焼き、相手の喜ぶ姿に自分も満足する映画「男はつらいよ」シリーズのフーテンの寅さんのような存在になろうと思ったんです。

活動内容は、本土や沖縄と地元の橋渡し。奄美に関心のある移住希望者や、研究者、投資家やアーティストなどの人々に、情報を提供したり、案内を買って出たり、人材のマッチングなどをしています。これによって、奄美の人口が増えたり、産業のパイが増えたりするのが夢ですね。奄美はIUOターンやIT産業集積、健康医療福祉のセラピー系マンパワーなど様々なモデル島として、今後もっと注目されるといつも提言しています。そのため、奄美のトラさんとして楽しみながら飛び回っています。

こうした活動により、「奄美のトラさんの家」の名称で、わが家が鹿児島まちの駅になり、内閣府「地域活性化伝道師」になりました。島には千人のトラさんと一万人のサクラがいますよ。奄美に関心があるかたは、お気軽にどうぞ、ご連絡ください。



ASAスポーツアカデミー理事長&
(株)アイズ・カンパニー代表 園田 明さん

母子家庭で育ち、小学高学年のとき、いじめに遭いました。その時始めたのがバスケット。中学高校とバスケットに熱中し、インターハイや国体も経験し、バスケットが人生を変えてくれました。この恩返しをしたいと思い、島の子ども達が島外に試合に行くハンディを逆転させ、島外のチームを招聘して奄美で試合をすることを始めました。今年で10年になりますが、全国レベルのチームも含め、中高校合わせて30チームが来島しています。

また、NPO法人を立ち上げ、公の体育館施設の指定管理者にもなり、スポーツだけでなく、地域との交流事業をしています。バスケットショップも立ち上げ、ユニフォームブランド「VAY oreLA」(「By俺ら」の意味)を創りあげました。世の中には、弱くてお金もないけどバスケットが好きという昔の僕たちのような仲間がいるはずなので、彼らを応援するブランドになろうと思ったんです。今までの交流で培った国内外の人が根本にあり、生産ラインを独自に持つことができたため、価格は一般的の半額以下でできました。現在、創立4年で日本では15,000チームが契約、年商5億円となり、今年はアメリカのロスで事務所を開く予定です。ただし、本拠地は奄美。ここからの発信が基本です。



寅さんの'おせっかいでお島を活性化'



蘇鉄の葉で玩具づくり



シマ博覧会での料理教室



餅つきで、スポーツ選手と交流



「島人の宝」会議風景



夜の飲食店街「ヤンゴ祭り」

歴史を語る

旧石器時代

近年、奄美群島では旧石器時代に相当すると考えられる遺跡が出土されており、奄美市笠利町でも発見が相次いでいます。土浜ヤーヤ遺跡からは、当時使っていた半磨製石斧が出土し、その地層の分析から約2万3千年前という年代が示されています。喜子川遺跡からは、石蒸し料理をしていた集石遺構や、石器を作る際にできるチャート製の「剥片」が2万5千年前の地層から出土。赤木名城からも同様のものや石器が発見されました。



イyanや洞穴遺跡(奄美市笠利町)は、約23,000年前のものと推定されている(国指定遺跡)。

縄文時代



奄美群島独自の宇宿下層式土器
(宇宿貝塚内遺跡出土)



▲宇宿貝塚(国指定史跡)

この頃になると、奄美でも土器が作られました。現在、一番古いとされているのが、爪形文土器です。イyanや遺跡で最初に発見され、その後宇宿高又遺跡や喜子川遺跡からも発見されました。また縄文時代後期には、竹籠を編んだような奄美群島独自の土器が宇宿貝塚から発見され、「宇宿下層式土器」と命名されました。南九州の土器文化の影響を受けて作られたといわれています。また、この上の層で発見された文様のない「宇宿上層式土器」は縄文時代晚期のもので、奄美群島を中心に広く分布しています。

弥生～古代並行期

この時代は、九州島とのつながりが深い時代でした。力を持った九州の特権階級たちは、自分の力を誇示するため、琉球列島に生息するゴホウラやイモガイ、オオツタノハ等の大型貝類で腕輪などを作り、「威信材」にしていました。奄美へは、季節風に乗って南下・北上をしていたようです。

奄美市笠利町の東海岸に位置する土盛マツノト遺跡(8～10世紀)から、兼久式土器や大和から移入された土師器や須恵器と鉄、銅製品、ガラス製管玉など

イモガイ製トウテツ文貝符
(サウチ遺跡出土)



が見つかり、大量のヤコウガイとヤコウガイの貝製容器や製作途中の破片も出土しました。また、用見崎遺跡や長浜金久遺跡、小湊フワガネク遺跡からも同様な遺物が出土したことから、奄美の人々は海辺で狩猟採集生活を送りながら、大和や中国の人々とヤコウガイ交易などをしていたと考えられています。

また、平安貴族がヤコウガイを用いたことが文献に記されていますが、屋久島以南でしか採取できない貝なので、奄美がヤコウガイの採取・加工する一大拠点であったのではないかと考えられています。日宋貿易に従事していたと考えられる商人の様子が『新猿樂記』に描かれていて、北はソトガハマ(青森)から南はキカイガシマ(鹿児島南方海域)までヤコウガイや硫黄、舶来の唐物などを取り扱い、列島規模で移動していました。

中世

奄美では中世の遺跡発見が相次ぎ、この時代が、九州島や中国、朝鮮半島との交易や交流が盛んになり、村を形成し共同社会へと大きくジャンプしたことがわかつてきました。そして、勢力を持った琉球の「按司」と同様な人々が台頭し、政治的拠点としてのグスクが築城されるようになります。

11世紀になると、狩猟採集社会からイネやムギを栽培する農耕社会へ変化する兆しが最近の発掘で明らかになってきました。赤木名城からも、11世紀中頃のイネ、オオムギ、アワ、キビなどの栽培植物が出土しています。

琉球王国統治時代

1429年に琉球王国が成立すると、15世紀中頃には奄美群島はその支配下に入り、琉球王から任命された女性祭祀者(ノロ)による地域統治が行われました。奄美市名瀬の大熊・浦上・有屋・仲勝の輪内地区は、かつてノロ祭祀が盛んに行われていた所で、今でもトネヤ跡が残されています。

南海に浮かぶ奄美大島は、世界的にも特異な歴史をもつことで知られています。長く続いた狩猟採集生活、そして平安貴族や世界遺産・平泉の中尊寺とも関わるヤコウガイ産地としての魅力的な時代のほか、琉球国や薩摩藩、アメリカ軍と様々な支配下におかれたり難の時代もありました。

Amami Oshima, located in the South Seas, is reknowned worldwide for its singular history. During a long, fascinating period of hunting and gathering, the area's status as a source of Great Green Turbo shellfish brought it into contact with the Taira clan and the World Heritage Chuson-ji Temple in Hiraizumi, Iwate Prefecture. Tumultuous periods of rule by the Ryukyu Kingdom and Satsuma Clan and occupational rule by the American military followed.

薩摩藩統治時代

1609年、薩摩藩が侵攻し、奄美はその統治下に入ります。1690年にサトウキビの技術が導入されると、キビ作が特産品として奨励されるようになりました。その後、「換糖上納令」により、サトウキビ生産に重点を置かれるようになると、食糧生産が乏しくなり、飢饉時には一家離散や村潰れなども生み出ことになりました。また、税が納められなくなると、ヤンチュ(家人)と呼ばれる下人や下女なども生み出すこととなり、士族身分の郷士格や島役人と百姓などの階層分化や、農民一揆が起こるようになりました。



幕末の奄美民俗誌「南島雜話」
(名越左源太著・奄美博物館蔵)

近代

1868年に明治維新となり、薩摩藩による支配は終わりとなりましたが、鹿児島県による黒糖専売は続き、1874年(明治7年)には、鹿児島県の大島商社による専売制が結ばれています。その後、丸田南里らが黒糖の自由売買運動を展開し、1878年(明治11年)に大島商社は解体し、ようやく黒糖が自由売買となりました。



代官所跡(奄美市笠利町)

米軍占領統治時代

その後、奄美も近代化が進んで行きますが、第二次世界大戦で日本が敗戦を迎えると、奄美群島は翌年には、「2・2宣言」により、日本から行政分離され、米軍の統治下におかれることになりました。

引揚者も多く人口が増えたにもかかわらず、本土との航海全面禁止のため、食料や日常品など物資は常に不足していました。島民は、ソテツなどで飢えをしのいでいました。

逼迫した生活のなかで、日本復帰運動が全郡的に広がりを見せ、奄美大島復帰協議会の泉芳朗議長らによる復帰への署名運動や断食による抵抗運動、さらには、本土在住の奄美出身者たちによる国への陳情活動などにより、1945年12月25日、奄美群島は日本へ復帰することができました。



断食で日本復帰運動をする人々



日本復帰を喜ぶ人々(鹿児島県)



琉球王国支配下に、祭政一致の権力者だった祝女(ノロ)の扇



日本復帰の調印式(鹿児島県)

最近のできごと

2009.7.22

皆既日食in奄美

古代から様々な自然現象は世界中で多くの人々を魅了し、神話や天文学をつくりだしていましたが、なかでも太陽が月にすっぽりと隠れる皆既日食が、2009年7月22日に奄美大島北部とトカラ海峡周辺海域などで見られました。日本の陸域で見られるのは46年ぶりで、21世紀最長の長さだということで、世界の注目が奄美に集まりました。

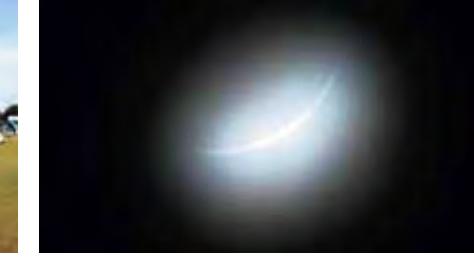
当日、午前10時55分ころから、3分間前後、辺りは急に薄暗くなり、夕暮れのような不思議な現象が起こりました。皆既日食になる直前に雲がかかり、宇宙の神秘を感じた一瞬でした。



遮光プレートを使った日食グラスで観測する人々 皆既日食を見ようと、多くの観光客が集まつた。



皆既日食の始まり



2010.10.20

Amami Area Heavy Rain Disaster:
Restoration and Recovery

奄美地方豪雨災害と災害復旧復興

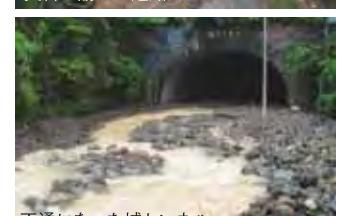


〈奄美地方豪雨災害〉

平成22年10月20日の豪雨災害は、奄美の自然と我々の心にかつてない大きな傷跡を残しました。尊い人命が奪われ、道路の陥没、がけ崩れ、冠水が相次ぎ、多くの市民が避難所生活を余儀なくされました。

また、この災害では本当に多くのボランティア、支援物資、義援金などの暖かい手が差し伸べられ、人と人とのつながりの大切さを痛感した出来事でもありました。

On October 20th, 2010, the heavy rain disaster left a huge scar in our hearts and minds like nothing before in Amami. Helping hands reached out in the form of the many volunteers, aid and donations and underlined the importance of connections at such a painful time.



〈災害復旧・復興〉

奄美市全域が局地激甚災害に指定されたこともあり、復旧・復興が進みました。

The entire city was declared a serious local disaster zone as restoration and recovery progressed.



災害時の住用総合支所1階



太陽が隠れていく瞬間

The Total Solar Eclipse in Amami

The total solar eclipse on July 22, 2009 could be viewed in northern Amami Oshima and the waters of the Tokara Strait. The world watched as the longest eclipse of the 21st century unfolded, marking the first time in 46 years that an eclipse could be seen in Japanese territory.

One Village, One Brand 一集落1ブランド紹介

Amami City is developing a One Village, One Brand project to utilize the island treasures extant in Shima villages to revitalize village life, and preserve and pass on unique culture.

本市では、集落(シマ)に色濃く残っている島唄や八月踊り、自然景観、特産品などの「シマの宝」を保存伝承し、またそれを活用して、奄美を訪れた方々とのふれあいや、シマンチュ同士のふれあいを生み出し、集落を元気にする一集落1ブランド事業に取り組んでいます。



1 佐仁八月踊り
(佐仁集落)



2 田イモ(たあまん)
(屋仁集落)



3 高倉
(川上集落)



4 赤木名観音堂
(里集落)



5 奄美一のガジュマル並木
(前肥田集落)



6 まえひだパパイヤ漬け
(前肥田集落)



7 エメラルドブルーの海と
天然の塩づくり体験 (打田原集落)



8 かくれ浜
(喜瀬)



9 用しゅんかねくわ踊り
(用集落)



10 八月踊り
(笠利一区集落)



11 宇宿稻すり踊り
(宇宿集落)



12 節田マンカイ
(節田集落)



13 芦花部一番の碑
(芦花部集落)



14 アッタドコネ(有良大根)
(あった町内会)



15 小湊厳島神社と金子山
青少年の森 (小湊町内会)



16 小湊フワガネク遺跡と
ソテツ畠 (小湊町内会)



17 フナンギョの滝
(川内集落)



18 モダマ
(東仲間集落)



19 役勝エコロード
(上役勝集落)



20 戸玉の網つけ漁
(戸玉集落)



21 ターバマ(高浜)
(市集落)



奄美市
名瀬
大和村
宇検村
瀬戸内町
龍郷町
笠利
住用
高浜
市
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21



奄美市は、温暖多雨の亜熱帯海洋性気候に属しており、作物の生育に適した条件に恵まれていますが、病害虫の発生や生産阻害の要因のほか、台風などによる農作物の被害もあります。

本市の重点振興作物であるサトウキビでは、経営安定に対応するため、栽培面積の拡大と機械化体系及び病害虫対策の徹底を図り、単位収量の増大と品質向上に努めています。

また畜産は、増頭、優良雌牛への更新とともに、子牛の商品性向上に取り組み、口蹄疫や鳥インフルエンザ発生に備え家畜防疫体制の強化を図っているところです。

亜熱帯海洋性気候を活かした果樹の振興や、カボチャなどの野菜等の振興については、生産組織化の強化を図りながら高付加価値ブランドの創出を推進し、生産施設・資材の導入を支援して農家の経営安定を図っています。

平成23年度から出荷基準の統一化のために建設中である奄美大島選果場整備では、広域的に取り組み、共販体制の確立と、品質向上による販路拡大を図っていきたいと考えています。今後も農業後継者育成事業による新規就農者の育成・確保に努めながら、担い手の基盤となる認定農家の育成等を図っていきます。

Amami City is situated in a subtropical maritime climate with temperate rain ideal for the growth of crops, but agricultural pests and typhoons also cause damage. Subtropical fruit is cultivated in addition to sugarcane and livestock.

温暖な気候を生かしたブランド品の創出を
Creating warm climate brands



養鶏業 Poultry Farming

奄美の郷土料理に「鶏飯」があり、鶏肉と鶏卵の需要は、高くなっています。大規模展開を図るなかで、養鶏場の臭気問題や、鶏自体の抗体が薄れてしまう問題がありましたが、腐葉土にある土着微生物を糖に吸わせ、今まで使われていなかった島の素材(カツオ残滓や炭、廃糖蜜、タンカンチップなど)を混ぜて飼料にすることで、臭気も品質も同時に解決できました。現在、3万7千羽を飼育し、良質な鶏卵と鶏肉を提供しています。

また、良質な鶏卵を使って、洋菓子店をオープン。一次産業と二次産業、三次産業を含めた6次産業として評価され、第60回全国農業コンクールで、農林水産大臣賞を受賞することができました。今後は、「かごしまブランド」の「黒さつま鶏」を育てるなどで、新たな需要を掘り起こしたいと思っています。

養鶏場を見回る南 利郎さん



新鮮で良質な鶏卵を、洋菓子に。六次産業化に向けての取り組みが評価されている。

付加価値の高いマンゴー



サトウキビ専業農家の榮 完治さん。2人の息子とともに、現在23ヘクタールの圃場を耕作。自家中心に自前のハーベスター3台を稼働させ、高齢化などによる収穫作業の委託も受託している。笠利地区では、年々ハーベスターによる収穫が進んでいる。



収穫されたサトウキビは、ほとんどが富国製糖で粗糖に加工される。



ハウスや
平張り施設において、
キクやスターチス
などの花き栽培も
行われている。

タンカン
味、量とも奄美が誇る
代表的みかんで、
濃厚な甘さとやわらかさ、
芳香が自慢。
収穫期は2~3月。



元井農園では家族協定をむすび、
親子でタンカン収穫に励む。

果樹



タンカンなどの栽培技術開発
を積極的に行っている平井孝
宜さん。父親とともに認定農業
者で新しい果樹づくりにも意
欲を燃やす。



ハウスでのマンゴー栽培



ハウスでのパッションフルーツ栽培

付加価値の高い商品開発 Developing High Added Value Products

奄美にはイタジイやリュウキュウマツなどの森林資源が豊富に存在しており、これらの資源を利活用した乾燥技術や加工技術等の推進を図り、付加価値の高い建築内装材や家具用材等の商品開発が行われています。また、鹿児島県や奄美大島地区林材協会などと連携し公共事業への積極的な活用、市場動向や耐久性・耐蟻性の調査研究を促進しています。

森林資源の公益的機能の維持増進を図るため、世界自然遺産登録を考慮し森林の機能に応じた天然林改良や更新伐等の森林整備を推進していくことで、近年拡大している松くい虫被害についても、被害拡大の抑制につながると考えています。



奄美の林野に多く見られるリュウキュウマツは、光沢があり木目も美しい。家具や木工品に利用されているほか、住宅や公共施設などへも利用の推進が図られています。

Forestry resources including chinquapin and Ryukyu pine abound in Amami, where efforts are underway to promote drying and processing techniques to utilize them and develop products such as high value-added interior architecture and furniture materials.



タケノコの活用
奄美市住用地区で収穫される
タイサンチクは6~10月に収穫され、煮物やキムチなどに活用されています。



自然栽培で、シタケづくり



駒打ち体験も人気

加工食品の開発や販路拡大を Developing Processed Goods to Expand Sales Outlets

本市の水産業は、周囲をサンゴ礁に囲まれ、近海には天然礁による好漁場が点在するなど、古くから生活と密接に結び付いた重要な産業です。多くは、漁船による一本釣り漁業・刺網漁業を営んでおり、採介藻漁業、養殖業、潜水器漁業なども営まれています。しかし、水産業を取り巻く環境は、水産資源の減少、魚価の低迷、漁業従事者の高齢化などにより、次代の産業としては大変厳しい現状にあります。

このため、漁業で安定した生活ができるように、水産基盤設備の整備や、加工品の開発、魚食普及、販路拡大等に対する取り組みに支援を行い、水産業の振興を図っています。



早朝の魚市場

Although in a precarious position as a next generation industry, fisheries are promoted by support for basic facilities and equipment, development of processed goods, the popularization of eating fish, and expansion of sales outlets.



新規開発された
フカジャーキー



モズクの収穫

カツオの水揚げ風景

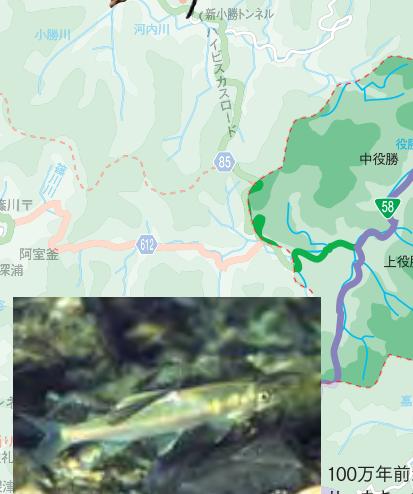
海ブドウ

KORA観光

Tourism



金作原原生林



夕日が美しい大浜海浜公園



昔ながらのアダンの植生が見られる用海岸



奄美十景のひとつ、あやまる岬

バードウォッチングの名所、大瀬海岸



カメの給餌体験で人気の奄美海洋展示館



貴重な自然と、独自の文化



本場奄美大島紬泥染め公園

マンゴロープカヌーツーリングが人気



選手から直接指導を受ける。

2011年度
ペイスターズ
秋季キャンプ

スポーツアイランド As a Sports Camp Destination



選手を迎える奄美市長



陸上選手たちと餅つきで交流



三儀山運動公園での練習風景



プロ野球選手の紅白戦に
熱い視線を送る
奄美の野球少年たち

スポーツキャンプ地として

奄美市ではスポーツアイランド構想を積極的に推進し、オリンピックに出場する選手団などのスポーツ合宿やプロ野球のキャンプ地誘致、全国的なスポーツイベントなどの誘致のため、様々な環境整備を行っています。また、海洋療法や「花粉症のない島」など、新しい観光地づくりを目指しています。

Amami City is actively promoting a "Sports Island" concept and improving facilities to attract sports camps and professional baseball camps as well as national sports events.



奄美のシマ唄や踊りで見送る。

クルージング観光

大型クルーズ船寄港地として
As a Port of Call for Large Cruise Ships

奄美は昔から「道の島」として、地理的にも歴史的にも知られてきました。奄美市では、観光船専用バースが新設されたのを機会に、世界のクルーズ船も寄港することができるようになり、更なる受け入れ態勢の充実を目指しています。



大型クルーズ船の寄港

Dedicated berths for cruise ships have been newly established in Amami City, which is preparing to welcome the world's cruise ships.



離島の不利性を克服し、雇用を拡大 Overcoming Island Limitations to Expand Employment

奄美市では、平成23年3月に「奄美市地域情報化計画」を策定し、「企業・仕事誘致」、「既存産業の振興」、「人材の育成・確保」、「情報通信環境整備」、「電子自治体の構築」を柱に、島嶼地域の不利性を克服する産業として期待されている情報通信産業の振興を推進しています。近年、著しい進展を見せている携帯電話などのモバイル通信や高速・超高速通信回線の普及など、情報通信手段の多様化やブロードバンド化を効果的に活用し、継続的な人材育成事業や地元企業の育成及び企業・仕事誘致にむけた環境の整備を図ることにより、情報通信産業の振興、雇用機会の拡大を目指しています。



Amami City formed an Amami City Regional Computerization Plan, which centers on inviting business and work opportunities, revitalizing existing businesses, developing and retaining human resources, improving the information and communication environment, and building e-government. The information and communication industry is widely expected to surmount inconveniences in island life.

2010年に設立した奄美情報通信協同組合(福山洋志代表理事)は、奄美市の小規模IT関連業者で設立。地元や県外、首都圏のIT関連の仕事を共同受注することで、地域社会の発展が期待されています。今後は共同開発した提案販売にも乗り出す計画で、事務局では島内外で営業活動を行っています。



島のブロードバンド会社

奄美にブロードバンドを普及させるため、国内初の独立系離島地域ISP事業者として、主にADSLを中心に地元に密着したサービスを開始。IT産業における優秀な人材を創出することや、GPS携帯を活用したアプリケーション事業では、観光事業などの活性化が期待されています。



貴重な自然環境・希少野生動植物を守るために Protecting the Environment and Rare Endangered Species

奄美の貴重な自然環境・希少野生動植物を守る取組みとして、飼い猫の適正飼養、アマミノクロウサギの保護対策、監視パトロールの強化、サンゴ礁の保全対策、ノヤギの防除、ウミガメの保護対策、ごみ対策などの施策を推進し、世界自然遺産登録の早期実現を目指します。

奄美の貴重な自然環境を保全し、後世に受け継いでいくことは、奄美群島民に課せられた重要な責務です。今後も、各種環境保全施策に取り組んでまいります。

Amami City is arousing public awareness of proper pet cat care and garbage disposal, protection of the Amami Rabbit, theft prevention, coral reef preservation, wild goat control, and the protection and monitoring of sea turtles in an effort to fast-track its listing as a World Natural Heritage Site.



貴重な奄美の資源を守るためのエコツアーガイドの養成や、盗採防止対策として、林道等のパトロール等が強化されている。



アマミノクロウサギは、ロードキルによる被害が多いことから広報紙による啓発活動や山林に看板を設置し対策を行っている。

マンガースのほか、ロードキルも問題視されているアマミノクロウサギ



▲貴重なサンゴ礁を守るためにオニヒトデの駆除や、サンゴの人工再生の試験研究にも取り組んでおり、今後の成果が期待されている。

◆保護監視員を配置しウミガメの産卵時期に併せて砂浜等のパトロールを行い、住み良い環境を確保している。

長寿・子宝のまちづくり

Community Building to Support Longevity and Children

奄美は10万人あたりの100歳以上の高齢者率が非常に高く、また合計特殊出生率も日本一高い長寿と子宝のまちとして知られています。これらは、結(ユイ)の精神に基づく地域相互扶助の仕組みがあったからともいえるでしょう。今後も各種保健福祉施策とも連動した支援体制の充実強化や、地域全体で長寿者の生き甲斐づくりや健康対策を支援し、また将来を担う子どもを地域全体で見守り育てていくことが大切です。

The percentage of the 100,000 Amamians who are 100 years old or older is extremely high, and when combined with the fertility rate, Amami boasts the longest lifespan and highest birthrate in Japan. Local areas continue to support the health of our seniors and create opportunities for them to stay active, while protecting and nurturing children to lead the future.



海水を活用したタラソテラピー(海洋療法)が人気

健康で生き甲斐のある暮らし



自然のアップダウンを生かしたグランドゴルフも人気



松村鐵次(96)、チエ(92)さん夫婦は、鹿児島県大会へも出場する現役ゲートボール選手

本市の人口に占める65歳以上の高齢者の割合(高齢化率)は25.2%と4人に1人が高齢者です。今後、団塊の世代が高齢期に入り高齢化のピークを迎える時期が来ることから、高齢者が安心して暮らし続けるために、介護・予防・医療・生活支援サービス・住まいを一体化して提供していく「地域包括ケアシステム」の構築が必要とされています。

また、高齢化による福祉ニーズが増加する中で、健康を維持しながら、自らの能力を最大限に活かし、高齢者自らも地域を作る担い手となるような長寿社会の創造が必要となっています。

このような背景を踏まえ、高齢者が住みなれた地域において、健康で生きがいを持ち、安心して暮らせるようなまちづくりを目指し、取り組んでいきます。



奄美では、男子が生まれると豊年祭などで初土俵を踏ませて、健やかな成長を祈る。

子は地域の宝 Children : jewels of the locality



幼児検診

本市における平成19年度の合計特殊出生率は1.71と全国平均の1.31や県平均の1.52を上回っているものの年々減少傾向にあり、人口維持の目安となっている2.08を下回って推移しており、子どもや子育て家庭を取り巻く環境は、核家族化や都市化の進行による地域や家庭における子育て機能の低下により、子育て世帯の約40%が子育てに関して何らかの不安や悩みを抱えている状況にあります。

本市では「子は地域(シマ)の宝」の考え方のもと、行政や市民・事業所・関係団体が一体となって子育てに関するさまざまな不安や負担を軽減し、地域全体で子育て環境の整備に取り組みます。

学校教育

Education in the schools



かつての奄美の住環境をコンセプトにした校舎(笠利小学校)

郷土学習に取り組む学校も多い。アマンデ太鼓(節田小学校)



給食風景。郷土の食材を使ったメニューが多く出るようになった。



分かる授業の創造

Making Lessons Easier to Understand

21世紀を担う子どもたちに求められているのは、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」と「生きる力」です。これらを実現させるため、奄美市では35人学級実現のための市独自の講師配置事業の推進や、特別支援員配置事業の拡充に努め、「分かる授業」の創造を行っています。

また人間関係づくりを促し、スクールカウンセラー・スクールソーシャルなどの配置や、適応指導教室の活用などで、いじめや不登校の問題にも対応しています。教科体育や一校一運動の充実、健康教育の推進、食育の充実にも努めています。そのほか故郷で生まれ育ったことを誇りにし、自らの夢や希望に向かって力強く羽ばたいていく「あまみっ子」の育成を図るために、郷土学習を充実させ、長野県小川村や群馬県みなかみ町との交流、ナカドウチエス市(国際理解教育)との交流なども継続・発展させています。

Amami City is creating understandable lessons to provide the children of the twenty-first century with the proven skills, abundant minds, healthy bodies and life skills they need. Local area studies are also emphasized as exchange programs are renewed and developed.

地域の中で教え、学ぶ

奄美市教育委員会では、本市の将来像である「自然・ひと・文化が共につくる豊かな人づくり」を受けた基本目標「地域の中で教え、学ぶ教育・文化のまちづくり」の実現に向けた「共に生きる教育」を積極的に推し進めています。

社会情勢の急激な変化にも対応できるよう、生涯学習の観点に立つ学校教育・家庭教育・社会教育を推進するとともに、市民のニーズに応じた生涯学習の基盤づくりに努めます。また、社会体育施設の整備並びに市民スポーツの振興を通して、心身ともに健康な市民の育成に努めます。



生涯学習の喜び

Joy of Lifelong Learning



The Amami City Board of Education is actively promoting education in daily life to make the slogan "Think Locally: Building Community with Education and Culture" a reality.

Promoting lifelong learning in the schools, the home and society forges a base for continuing education that meets citizen needs.



ジャズダンス



フラダンス

社会教育

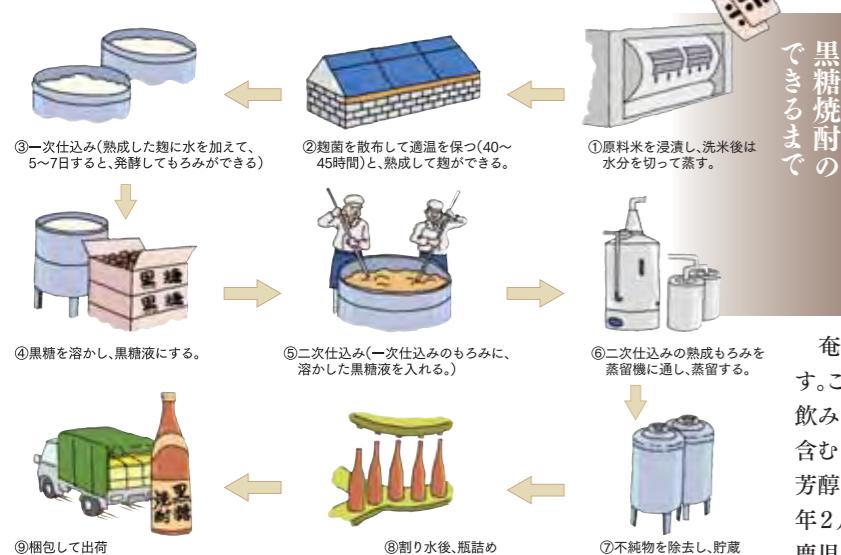
Community education



Amami brown sugar shochu spirits are made by a distilling process permitted nowhere in Japan but Amami and produce a colorless, mild flavored spirits with zero sugar content that is good for the health. Enjoyed since ancient times, shochu spirits are recognized as a local brand by the Patent Office, and May ninth and tenth are designated "Amami Brown Sugar Shochu Spirits Days."



奄美市で製造されている黒糖焼酎



Amami is known as an island of longevity and Amamian food has gained attention as one reason for long lifespans. New recipes and processed foods are also popular.



島素材に付加価値をつける

食品加工業 松山竹一さん

奄美の果物を加工して菓子類を作っていましたが、塩や黒糖も自分たちで作り始めました。この素材をメインに、タンカン、マンゴー、グアバ、ショウガ、蘇鉄味噌などを使用し、パンや洋菓子、お土産製品などの加工食品を作っています。奄美にはいい素材がたくさんあるので、付加価値を高めて島外へ広めていきたいですね。



たんかんまるごとチーズケーキ

完熟タンカンをまるごと煮詰め、チーズケーキに黒糖を使用
(2011鹿児島県地域特産品コンクール(大島地域)食品部門最優秀賞)

黒糖ショコラ／黒糖をビターチョコでコーティング
(2010鹿児島県新加工食品コンクール優秀賞)

食の可能性

人気の島ショウガ加工品



Amami Foods

本場奄美大島紬

Authentic Amami Oshima Tsumugi silk pongee



大島紬愛好家の集い



大島紬ショー

With over 1300 years of history, 100% hand-woven authentic Amami Oshima Tsumugi silk pongee is a mud-dyed, elaborately woven silk fabric and is designated as a local brand by the Patent Office. The city established January fifth as "Tsumugi Silk Pongee Day" and the fifteenth of every month as "Tsumugi Silk Pongee Appreciation Day" to invigorate producing centers.



奄美市では、毎年1月5日を「紬の日」とし、紬の香りが感じられる街づくりを推進している。



大島紬で作ったバッグ



大島紬で作った傘



大島紬で作ったコースター



西陣織物とのコラボ作品

奄美は、長寿世界一を二人も輩出し100歳以上の長寿者が多く住むなど、長寿の島として知られ、その源である「奄美の食」が今、大変注目を浴びています。豚や鶏肉、島野菜を使った郷土料理のほか、新しいレシピや加工品も開発され、人気を集めています。

奄美パパイヤもずくキムチ
(鹿児島県水産物品評会最高賞)奄美黒豚パパイヤ丼
(奄美市商店街で行われたS-1グランプリでナンバーワンとなった新グルメ)

タンカンの羊かん

地域に根ざして
Adding value to island products

奄美大島の真中に位置する特産品販売所サン奄美(住用村)では、島で育ったタンカンやヨモギ、タケノコなどの農産物を加工、地元や観光客に喜ばれています。特にタンカン製品は、ジュースやジャム、ゼリーのほか、最近はかりんとうや羊羹も人気です。



姉妹・友好都市交流

Exchanges with Sister and Friendship Cities



姉妹都市 アメリカ テキサス州 ナカドウチエス市

Sister City Nacogdoches

ナカドウチエス市と旧名瀬市は、ステファン・F・オースチン大学と奄美看護福祉専門学校が姉妹校協約を結ぶのを契機に、両市民が教育・文化・経済等幅広い分野の交流を深めるため、平成7年4月26日に姉妹都市協約を締結しました。平成17年4月には、市町村合併後の奄美市においても姉妹都市協約を継続する調印を交わし、現在に至っています。現在、中学生のホームステイ派遣や受け入れなど、教育・文化面での交流が継続して行なわれており、本市の国際化へ大きく貢献しています。

友好都市

Friendship City



〈空港で結ぶ友好都市連携に関する協定〉大阪府 豊中市

Friendship City Toyonaka

空港で結ぶ友好都市提携に関する協定締結式



交流事業

Exchange Program

長野県小川村との交流

Ogawa village,
Nagano Prefecture

平成10年から小学6年生を対象に奄美市住用町(旧住用村)と長野県小川村の交流が始まりました。自然や生活環境の異なる地域で体験交流を通して、生活様式・習慣・文化等の違いや良さを見直し、相互のまちの発展を担う青少年を育成することを目指されています。



群馬県みなかみ町との交流

Minakami village,
Gunma Prefecture

群馬県みなかみ町と旧笠利町は、平成13年度から青少年の交流事業を行っています。夏の時期には、みなかみ町の小学生を受け入れ、冬の時期には、笠利町の小学生を派遣して、相互の青少年の育成に貢献しています。



なごや さげんた
名越左源太 (1819~1881)



薩摩藩の上級藩士で武術や和歌、絵、医術などに長けていたが、藩の世継ぎ問題(お由良騒動)で、1850年~1855年まで名瀬に逐島になった。このとき、奄美各地で見聞した奄美の風俗や産業、動植物などを絵入りで描き綴ったのが「南島雜話」で、奄美民俗書のバイブルといわれている。写本5冊は奄美博物館所蔵。



いずみ ほうろう
泉 芳朗 (1905~1959) 德之島出身

奄美群島の日本復帰に尽力した指導者で、復帰の父ともいわれる。戦後、奄美群島は8年間米軍政府統治下におかれながら、祖国復帰を果たすため、泉らは、断食などの非暴力で抵抗。また全群島民の99.8%の署名を集めるなどをした結果、1953年12月25日に、奄美群島の復帰が成就した。奄美市のおかみ山には、断食悲願詩碑と記念碑が建立されている。

まるた なんり
丸田南里 (1851~1886) 奄美出身



黒糖自由販売運動の先駆者。英國商人グラバーとともに渡英し、明治政府になつてから帰國。新政府になつても藩政時代の專売制度を踏襲する大島商社の搾取に憤り、明治8年から全島民によりかけ、大島商社の解体と砂糖自由販売運動を提唱し、11年に実現させた。奄美市名瀬井根町に墓がある。



もとじ しんぐま
泉二新熊 (1876~1947) 奄美出身

日本法曹界の先駆者といわれる裁判官、刑法学者。東京帝国大学卒業後、裁判所検事、司法省などをつとめながら「改正日本刑法論」、「刑法学大要」などを出版。少年犯罪や陪審員姓氏の研究を続け、「少年法」制定に尽力した。検事総長、大審院長、退官後は枢密院顧問官を歴任した。刑法学者としても著名で、その刑法学は「泉二刑法」と呼ばれ、広く世に知られた。

奄美市ゆかりの人々 People connected with Amami City

えばら よしもり
恵原義盛 (1905~1988) 奄美出身



奄美の民俗研究家。ケンムン博士。上京後、貯金局に勤務しながら東京物理学校に学ぶ。台湾で金鉱石掘業に従事とともに、南洋および琉球弧の民俗学を志すようになる。その後、法務省で勉学し、刑務所長として全国を回る。

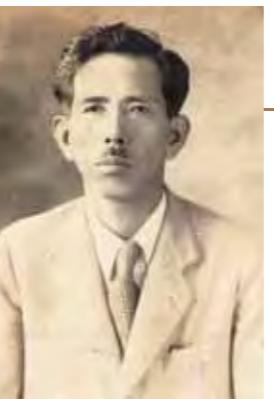


たなか いっそん
田中一村 (1908~1977) 栃木県出身

日本画家。幼少のころから天才的な才能を發揮していたが、独学で画境を開き、50歳のとき奄美に移住。奄美的動植物を精密な写生と大胆な構図で描いた。没後、その画業がテレビで放映され、全国で大反響をよび、作品展が全国を巡回、記録的な入場者数となる。奄美パーク内に、田中一村記念美術館が建造され、作品が常設されている。



かざり えいきち
文 英吉 (1890~1957) 奄美出身



ジャーナリスト、民俗研究家。奄美大島日本復帰協議会副議長。幼少のころから読書を好み、奄美郷土芸能に興味をもつ。「南島時報」の編集長となり、「新大島」や雑誌「南島」を創刊するなど執筆活動を展開。また、奄美の芸能研究に取り組み、「奄美民謡大観」を出版。米軍政府下には奄美図書館長などを務め、奄美群島日本復帰にも貢献した。



しまおとしお
島尾敏雄 (1917~1986) 福島県出身

純文学作家。日本芸術院会員。昭和19年、特攻艇第18震洋隊長として、加計呂麻島に赴任、後に妻となるミホと出会い、昭和20年8月13日、出撃命令を受けながら、待機のまま敗戦。これらの経験が彼の文学の原点となった。ミホとともに昭和30年~50年まで名瀬で暮し、県立図書館分館長の傍ら、「死の棘」など数多くの文学作品を書いた。同敷地跡に、文学碑が建立されている。

行政



奄美市役所本庁



せきわ総合支所



住用総合支所

M u n i c i p a l a s s e m b l y



議会風景



年末の最終議会では、紬着用が恒例



市長 朝山 肅 副市長 福山 敏裕 教育長 坂元 洋三

奄美市は、目指す将来都市像を「自然・ひと・文化が共につくるきょうらの郷(シマ)」と位置づけ、市民と行政が共に行動する「自助・互助・公助」の理念のもと、5つの柱として「健康で長寿を謳歌するまちづくり」、「観光立島を目指した多様な産業連携のまちづくり」、「自然に囲まれた快適なくらしのまちづくり」、「地域の中で教え、学ぶ教育・文化のまちづくり」、「魅力ある地域づくりに向けて」を施策の大綱に定め、市勢の発展に努めてまいります。

Based on the principles of self-help, mutual help and cooperation, Amami City set a wide net of strategies for community building that extol health and long lifespans, encourage inter-industry collaboration in island tourism, promote comfortable lifestyles within the natural environment and conceive of education and culture locally to foster an appealing local area.



議長 向井 俊夫 副議長 平川 久嘉

奄美市議会は、議員定数24人で構成されています。総務企画・文教厚生・産業建設の常任委員会と議会運営委員会が設置されており、必要に応じて特別委員会を設けています。公正性・透明性を確保して、市民に開かれた市民参加を推進する議会を目指し、市民全体の安全安心・福祉向上のための活動に努めています。

Twenty-four people sit on City Council. Standing committees include General Planning, Education and Welfare, Industrial Construction, and a Council Steering Committee. Special Committees are also held as necessary.

誇りある奄美市民の幸福と前進のために

1. わたしたち奄美市民は、
きまりを守り住みよいまちをつくります。
2. わたしたち奄美市民は、
助け合いぬくもりのあるまちをつくります。
3. わたしたち奄美市民は、
健康で明るいまちをつくります。
4. わたしたち奄美市民は、
教養を高め伸びゆくまちをつくります。
5. わたしたち奄美市民は、
よく働き豊かなまちをつくります。

奄美市民憲章

Amami citizen charter

平成19年3月20日制定

非核・平和都市宣言に 関する決議

Resolutions related to the
Anti-Nuclear Peace City Declaration

核兵器を廃絶し、世界の恒久平和を実現することは人類共通の願いであるとともに、奄美市民の悲願でもある。

奄美市民は、世界最初に核兵器に被爆した国民として、広島、長崎の惨禍を繰り返してはならず、核兵器の恐ろしさ、核兵器の廃絶を全世界の人々に訴え続けていく決意である。

奄美市は、今なお大量の非人道的核兵器が依然と存在し、その使用が人類と地球の破滅の危機をもたらすことにかんがみ、生命の尊厳を保ち、人間らしく生活できる真の平和実現に寄与するため、日本の国是である非核三原則の堅持とともに核兵器の廃絶と軍縮を全世界に訴え、「非核・平和都市」となることを宣言する。

平成18年6月23日

奄美市議会

名誉市民

Honorary citizens



故奥山 八郎氏
(昭和34年3月28日推戴)



故谷村 唯一郎氏
(昭和34年3月28日推戴)



故大島 直治氏
(昭和40年3月29日推戴)



故金井 正夫氏
(昭和40年3月29日推戴)



故川崎 夕美氏
(昭和40年3月29日推戴)



故有村 治峯氏
(昭和47年3月10日推戴)



故龍野 定一氏
(昭和47年3月10日推戴)



故基 八重氏
(昭和63年4月1日推戴)



故大津 鐵治氏
(平成2年3月28日推戴)



故ルカシェフスキー・フランク氏
(ジェローム神父)
(平成4年4月30日推戴)



故朝山 玄蔵氏
(平成13年11月24日推戴)



故有川 幸雄氏
(平成13年11月24日推戴)

名瀬

NAZE



Amami City public facilities

奄美市 主な 公共施設



⑩ 奄美市公設地方卸売市場

⑦ 有良汚泥再生処理センター

① あやまる岬観光公園



笠利

KASARI

奄美市 主な 公共施設



⑩ 奄美市公設地方卸売市場



① あやまる岬観光公園



Amami City flower and tree

奄美市の花木等

市花

City Flower



シャリンバイ Japanese Hawthorn

在来種で、大島紬の染料にも使われるなど、伝統産業を支えてきた花です。街路にも植栽され、身近に市民に親しまれています。



ハイビスカス Hibiscus

フヨウ属の総称であり、在来種のオオハマボウ、サキシマフヨウ等も含まれますが、一般的にはブツツウゲのイメージが市民の間で定着しています。

市木

City Tree



リュウキュウマツ Ryukyu Pine

琉球列島の固有種です。大木は奄美に多く、市内には琉球列島扇指の大木もあります。奄美の山の黒っぽい緑を形成している木で、木工芸品なども近年注目されています。海岸線の松林は今後観光資源としても期待されます。



ガジュマル Banyan Tree

木登りやブランコなど子どもの遊び場として、また木陰は住民の憩いの場として古くから市民に親しみのある木です。奄美の民話に出てくる「ケンムン」の棲家とも言われ、奄美の象徴的な木でもあります。

その他の植物



ヒカゲヘゴ Flying Spider-Monkey Tree Fern

花木のほかに、特殊な植物を市のシンボルに加えることにより、奄美市の植物の多様性、豊富さを内外に示すことができます。ヒカゲヘゴは、古代のジャングルを連想させ、奄美の亜熱帯の深い森を最もよく象徴している植物です。